

たんぽぽ通信

2022年
夏号
Vol.61

公立丹南病院 産婦人科のご紹介

～私たちがサポートいたします～

公立丹南病院 産婦人科 知野 陽子



医師・助産師・看護師・栄養士・ソーシャルワーカーなど、多くのスタッフで情報を共有しサポートいたします

こし、母児が危険になることがあります。そうならないように栄養士による食事内容の聞き取りや栄養相談を行っています。産後退院前に育児不安が強い時には、市町の担当者に連絡して早めに自宅訪問に行ってもらったり、小児科スタッフに引き継ぎをして予防接種の時に母さんの心配事をお聞きしています。産後1年まででしたら入院して助産師に相談しながら、授乳や育児をできる産後ケア事業も行っています。

私自身、切迫流早産となり長期に入院し、最終的には適

私は大学5年生の臨床実習で、出産を見て感動し産婦人科医師になりました。日々、おなかの中の赤ちゃんをエコーでみたり、赤ちゃんの誕生の瞬間に立ち会って、喜びを分けてもらっています。

妊娠中、お母さんはうれしさと同時に不安を感じることもあるでしょう。わが子を心配するのはごくごく自然なことです。でも、過度の心配は赤ちゃんにもよくありません。また初めての育児はわからないことばかりで戸惑うのも当然です。

多くの産科施設でも行われていますが、当院でも、多職種のスタッフで妊産婦さんとそのご家族、赤ちゃんのサポートをしています。

妊婦健診では、医師の診察のほか、助産師から心配事がないかを伺います。現在はコロナ禍で妊婦健診や分娩にご主人が付き添えないことへの不安を訴える方が多いですね。妊娠中体重が増えすぎて放置すると、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病といった疾患を引き起

切な時期に出産しましたが、私も夫も県外出身なので仕事をしながらの育児はそう簡単ではありませんでした。それでも何とかやってこられたのは、家族や職場、保育園の方々など周りの方のサポートのおかげです。

最近はいろんなサポートが受けられるように福祉サービスも進んでいます。

大切なのは、1人で妊娠・出産・育児をするのではないということ。妊婦さん、ご家族、生まれてくる赤ちゃんが心も体も健やかに過ごせるように、不安なことはご相談いただき、私たちにサポートさせてください。一緒に考えれば解決法が見つかりますよ。



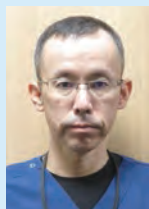
新任医師のご紹介

公立丹南病院では2022年度の新任医師が着任いたしましたので、ご紹介いたします。

麻酔科

高田浩太郎 (2022年1月入職)
石川県金沢市出身

福井医科大学卒業後、県外で勤務していましたが、帰郷し、今年1月から常勤になりました。手術室の業務においては、常に安全を心がけて、少しでも質の高い麻酔を提供できるように努力いたします。よろしくお願いいたします。



麻酔科

佐藤倫祥 (2022年4月入職)
岡山県岡山市出身

福井大学卒業後、敦賀病院、福大附属病院、県立病院で勤務いたしました。また実務経験はありませんが薬剤師免許も取得しております。地域の皆様に質の高い麻酔を行うよう心掛けています。よろしくお願いいたします。



腎臓内科

山内博行 (2022年4月入職)
富山県黒部市出身

腎臓内科医として石川、富山、京都の病院で勤務してきました。腎不全および透析医療を中心として勤務させていただきます。信頼される腎臓・透析治療を提供できるように努力いたします。全国的に有名な京都のシャント専門病院（京都と自宅間の送迎あり）とも協力しています。手術希望あればご紹介いたします。お気軽にお声がけください。どうぞよろしくお願いいたします。



整形外科

窪田有咲 (2022年4月入職)
愛知県名古屋市出身

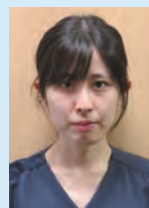
はじめまして、整形外科の窪田と申します。昨年までは福井大学病院で働いていました。まだまだ至らない点ばかりですが、困っている方のように、何事にも全力で取り組む所存です。何卒よろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科

釜谷紬岐 (2022年4月入職)
福井県敦賀市出身

福井大学卒業後、大学病院で1年間研修をしていました。耳鼻科医2年目でまだまだ勉強中ではありますが、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



総合診療科

伊禮奏子 (2022年4月入職)
沖縄県沖縄市出身

沖縄で初期研修を終えて、2年前に福井にきました。医師5年目の救急科専門医です。福井の方々の温かいお人柄がとても好きなので、私も1人ひとりの患者さんに寄り添った診療ができるよう努力して参ります。まだまだ未熟ではございますが、日々精進していきますので宜しくお願いいたします。



内科

島田真行 (2022年4月入職)
福井県出身

越前町、おおい町、永平寺町など福井県内を点々と移動し、地域医療をしています。日頃抱える病気や症状についてどんな疑問でも応えられる、家庭医/総合診療医を志し、日々精進しています。何でも相談してください。一緒に悩んで解決していければと思います。宜しくお願いします。



脳神経外科

山田真輔 (2022年4月入職)
和歌山県和歌山市出身

福井大学脳神経外科に入局しています。6年前にも丹南病院に勤務しており、4月から再びお世話になることになりました。脳だけではなく脊椎脊髄手術も専門としております。手や足のしびれといった症状があれば一度ご相談ください。



脳神経内科

前田健一郎 (2022年4月入職)
愛知県出身

昨年度は1年間育児休暇をいただいております。ご縁があり、内科医、神経内科医として働かせていただくことになりました。お役に立てるよう精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



産婦人科

金井貴弘 (2022年4月入職)
新潟県南魚沼市出身

福井大学を卒業し、これまでは福井県立病院、福井大学付属病院、福井県済生会病院で勤務をしていました。今後は丹南地区の皆様に貢献できるよう努力させていただきます。最近、性教育認定講師の資格を取得しました。活用できたらうれしいです。



看護部長就任のご挨拶

はじめまして

公立丹南病院 看護部長
山田 美佳



はじめまして、2022年4月より看護部長を拝命しました山田美佳と申します。

看護部では『おもいやりと自律』という理念のもと看護職は患者さんやその家族の方と接していきたいと考えております。

看護職として患者さんやその家族の気持ちに寄り添い、どのような気持ちで病院を受診し、入院生活を送っておられるのか注意深く考え、接することができることが大切です。また他職種に対しても相手のことをおもんばかって行動できるようになれることが必要だと考えます。

真の優しさを持っている人は、損得勘定を持たないので見返りを求めません。相手によって態度を変えることもないので、周りの人からも信頼されるようになります。

看護職として自ら考えて患者さんやその家族にとって何が最善なことなのかを考え行動することが必要です。地域医療振興協会の介護看護部の教育目標である「いつでも、どこでも、限られた資源の中で、自ら考え行動する看護師」として自律できることが大切です。そのためにも常に新しい知識や技術を習得し、自らの言葉で他者に自己の考えを伝えることができるよう行動できるよう努めてまいります。

公立丹南病院の看護職は、正しい倫理観とおもいやりを持ち自己の利益のみでは無く常に相手の立場に立ち考え、自ら考え行動のできる看護職となれるように努めてまいります。

これからも地域に愛される病院づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

公立 丹南病院

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

TEL 0778-51-2260 FAX 0778-52-8620

メールアドレス info@tannanhp-jadecom.jp

https://www.tannanhp-jadecom.jp/

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所 TEL 0778-51-5411

訪問看護ステーション TEL 0778-52-2050

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31 FAX 0778-52-2151

メールアドレス zaitaku@tannanhp-jadecom.jp

通所リハビリテーションセンター なごみの里 TEL 0778-51-5234

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31 FAX 0778-51-8242

メールアドレス nagominosato@tannanhp-jadecom.jp

病児・病後児保育所「えくぼ」 TEL 080-6367-6567

